

平成23年度環境こだわり農産物残留農薬検査結果（概要）

1．分析の目的

環境こだわり農産物認証制度に対する消費者からの信頼性を高めるために、認証された環境こだわり農産物について、農産物中の残留農薬の検査を実施するとともに、生産記録が正しく記載されていることを確認することとしています。

2．分析試料

平成23年産環境こだわり農産物
30検体（水稲20検体、野菜・果樹10検体）

3．分析農薬

水稲26農薬、野菜・果樹31農薬

4．分析結果

（1）分析した農薬のうち、食品衛生法の残留基準値を上回る農薬は検出されませんでした。

（2）

水稲12検体、野菜・果樹1検体から、検出下限（0.01ppm）を超える農薬が検出されましたが、いずれも残留基準値以下でありました。

そのうち、野菜・果樹1検体から、生産記録にない農薬が検出されました。農業者からの聞き取りの結果、農業者は当該作物では当該農薬を使用しておらず、前作で使用した農薬が検出されたと考えられます。

5．今後の対応

今後とも引き続き、生産記録の適切な記帳の徹底および残留農薬検査の実施により認証制度の信頼性向上に努めます。